

# 第1表

## 年度別の需給計画表(ピーク時需要量等)

事業者名:石油資源開発株式会社

		単位	2023年度 (実績)	2024年度 (実績見込)	2025年度 (初年度)	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
導管A	年間需要量	m <sup>3</sup> /年	68,799,327	67,054,740	73,577,358	73,577,358	73,577,358	73,577,358	73,577,358
	需要量	m <sup>3</sup> /時間	17,566	17,851	19,587	19,587	19,587	19,587	19,587
	調整力確保量	m <sup>3</sup> /時間							
	調整力	%							
導管B	年間需要量	m <sup>3</sup> /年	66,180,269	62,843,264	63,178,576	64,551,264	64,019,566	63,493,184	54,826,169
	需要量	m <sup>3</sup> /時間	16,064	15,825	15,909	16,255	16,121	15,989	13,806
	調整力確保量	m <sup>3</sup> /時間	53,020	53,246	52,619	(51,066)	(50,784)	(50,171)	(51,599)
	調整力	%	330.1%	336.5%	330.7%	314.2%	315.0%	313.8%	373.7%
導管C	年間需要量	m <sup>3</sup> /年	1,127,041,118	1,091,431,397	1,164,176,498	1,158,945,312	1,178,992,303	1,359,579,963	1,412,430,209
	需要量	m <sup>3</sup> /時間	233,279	225,908	240,965	239,882	244,032	281,410	292,349
	調整力確保量	m <sup>3</sup> /時間	238,289	247,328	232,438	(228,779)	(221,424)	(183,798)	(175,102)
	調整力(%)	%	102.1%	109.5%	96.5%	95.4%	90.7%	65.3%	59.9%
合計	年間需要量	m <sup>3</sup> /年	1,262,020,714	1,221,329,402	1,300,932,432	1,297,073,933	1,316,589,226	1,496,650,505	1,540,833,735
	需要量	m <sup>3</sup> /時間	266,908	259,584	276,462	275,725	279,740	316,986	325,743
	調整力確保量	m <sup>3</sup> /時間	291,309	300,574	285,057	(279,845)	(272,208)	(233,970)	(226,701)
	調整力(%)	%	109.1%	115.8%	103.1%	101.5%	97.3%	73.8%	69.6%

導管A: 北海道地区における当社北広島受渡施設～当社流通分岐ステーションを接続する当社導管

導管B: 北海道地区における上記を除く当社導管

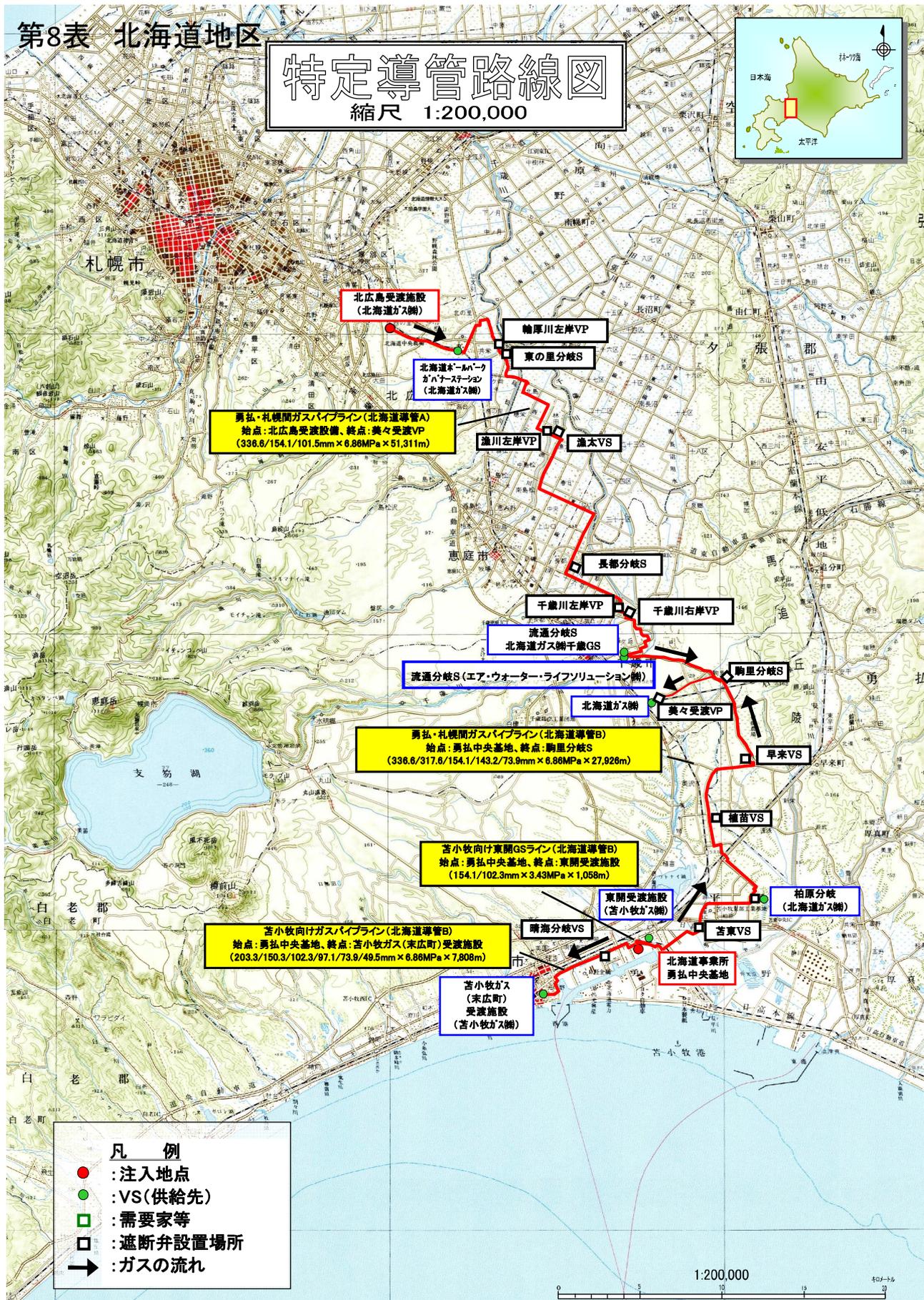
導管C: 新潟・東北地区(新潟県、山形県、宮城県、福島県内)に敷設する当社導管

・別表の第2表、第3表、第5表については特定ガス導管事業者には作成義務が課せられておりませんので作成しておりません

第8表 北海道地区

# 特定導管路線図

縮尺 1:200,000



**北広島受渡施設 (北海道ガス網)**

**北海道ホーム・クガハーステーション (北海道ガス網)**

**勇弘・札幌間ガスバイライン(北海道導管A)**  
始点:北広島受渡設備、終点:美々受渡VP  
(336.6/154.1/101.5mm×6.86MPa×51,311m)

**勇弘・札幌間ガスバイライン(北海道導管B)**  
始点:勇弘中央基地、終点:駒里分岐S  
(336.6/317.6/154.1/143.2/73.9mm×6.86MPa×27,926m)

**苫小牧向けガスバイライン(北海道導管B)**  
始点:勇弘中央基地、終点:苫小牧ガス(末広町)受渡施設  
(203.3/150.3/102.3/97.1/73.9/49.5mm×6.86MPa×7,808m)

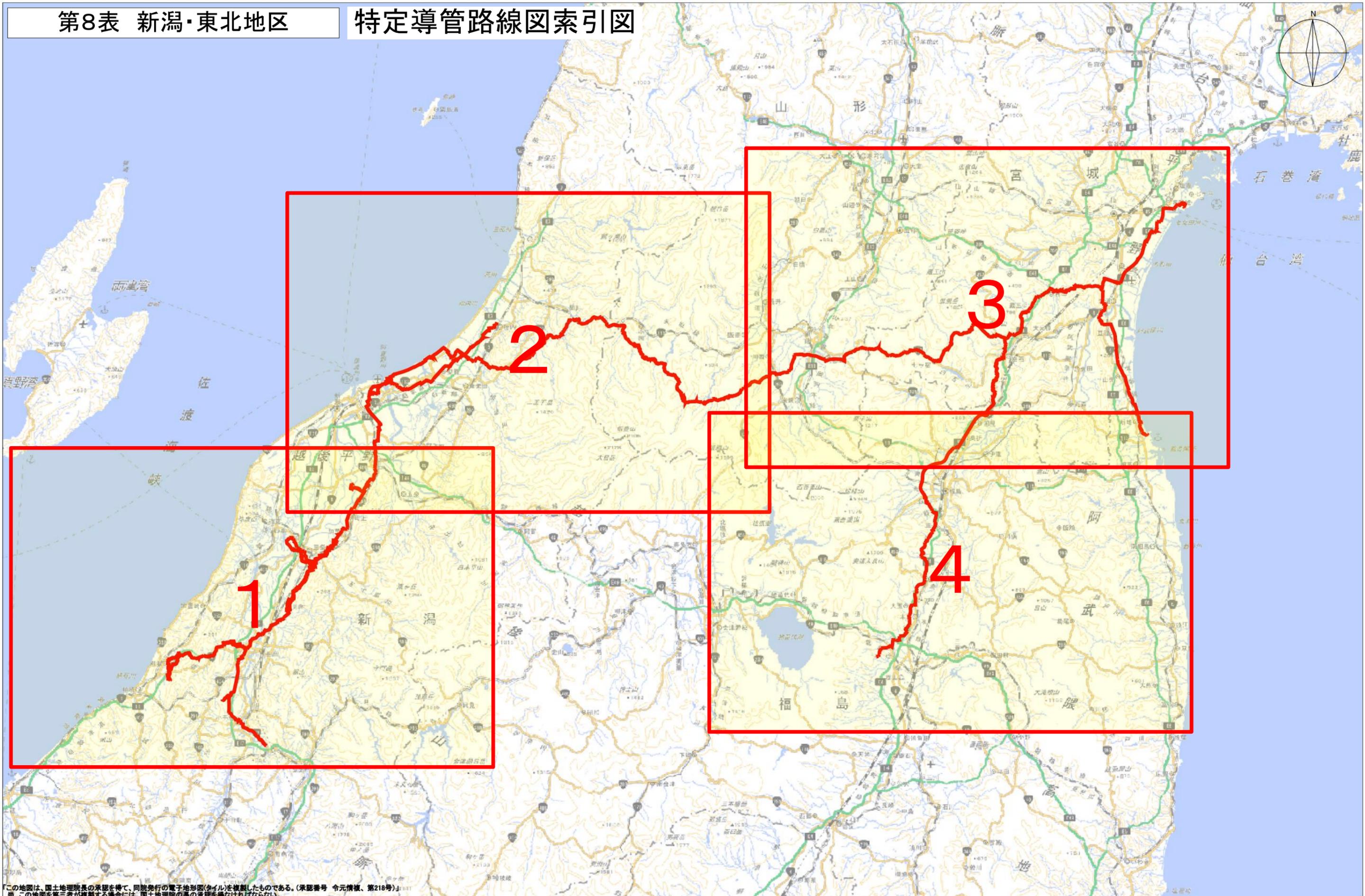
**苫小牧向け東開GSライン(北海道導管B)**  
始点:勇弘中央基地、終点:東開受渡施設  
(154.1/102.3mm×3.43MPa×1,058m)

- 凡 例**
- : 注入地点
  - : VS(供給先)
  - : 需要家等
  - : 遮断弁設置場所
  - ➔ : ガスの流れ

1:200,000

第8表 新潟・東北地区

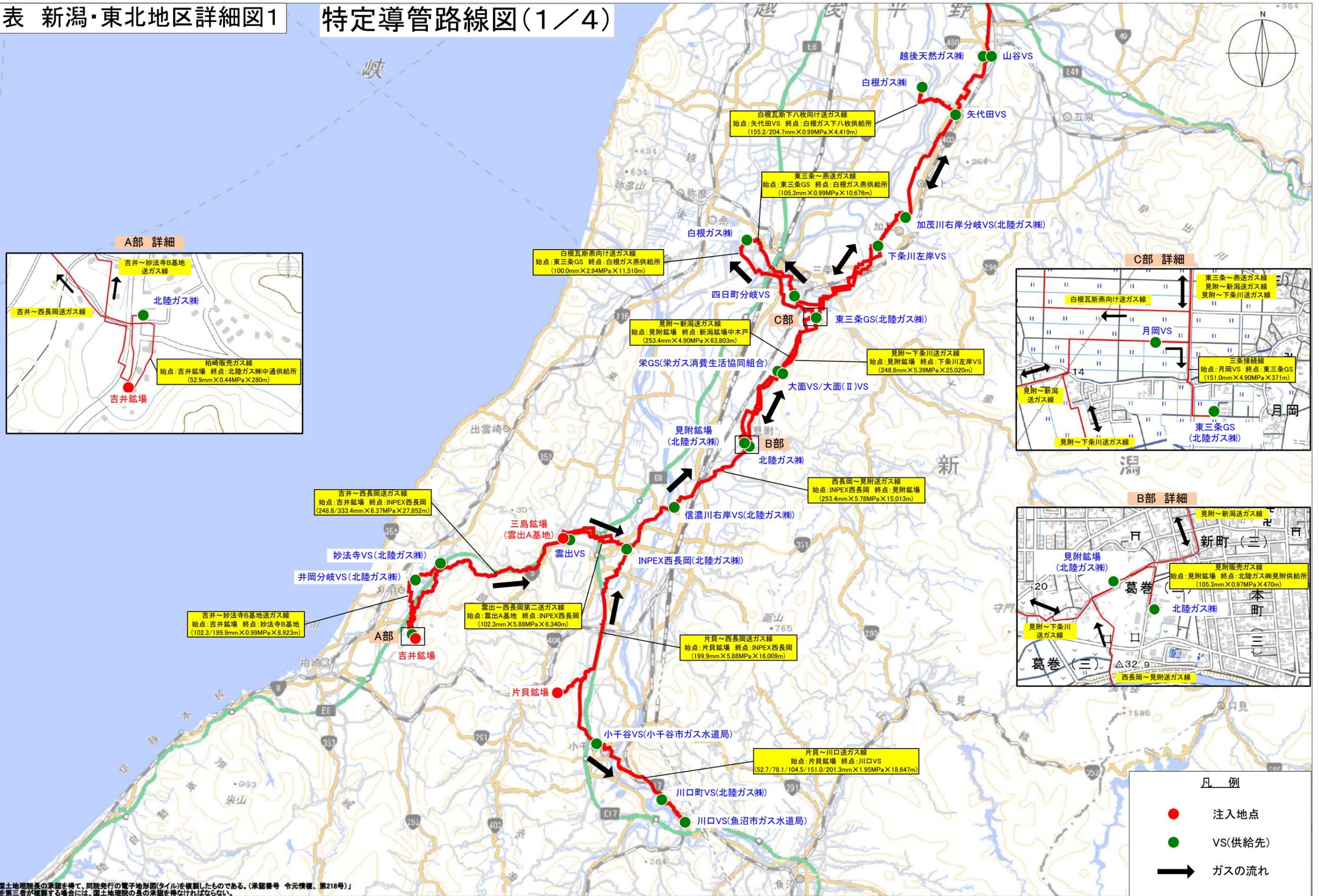
特定導管路線図索引図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情復、第218号) 前、この地図を第三者が複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

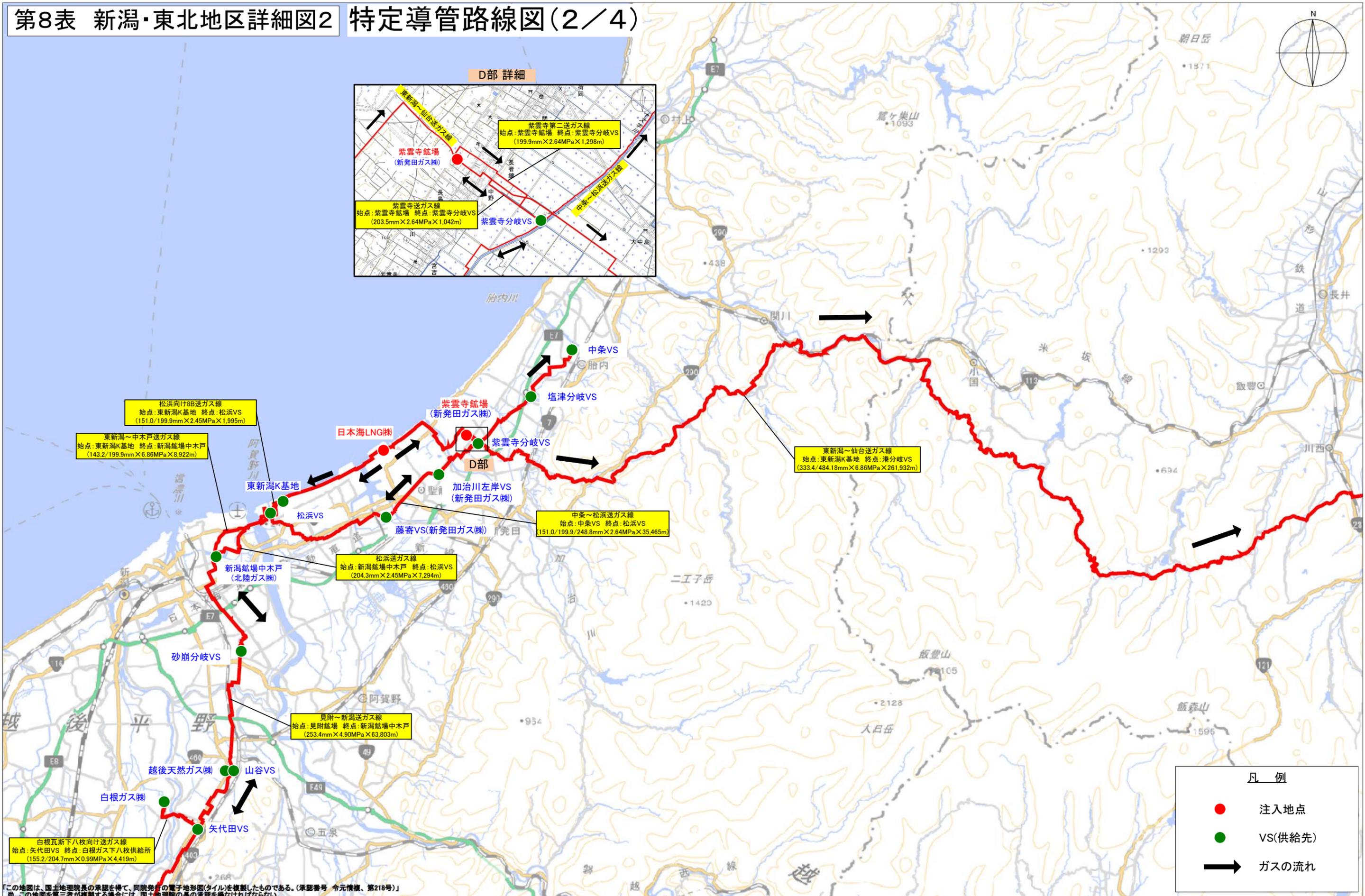
第8表 新潟・東北地区詳細図1

特定導管路線図(1/4)



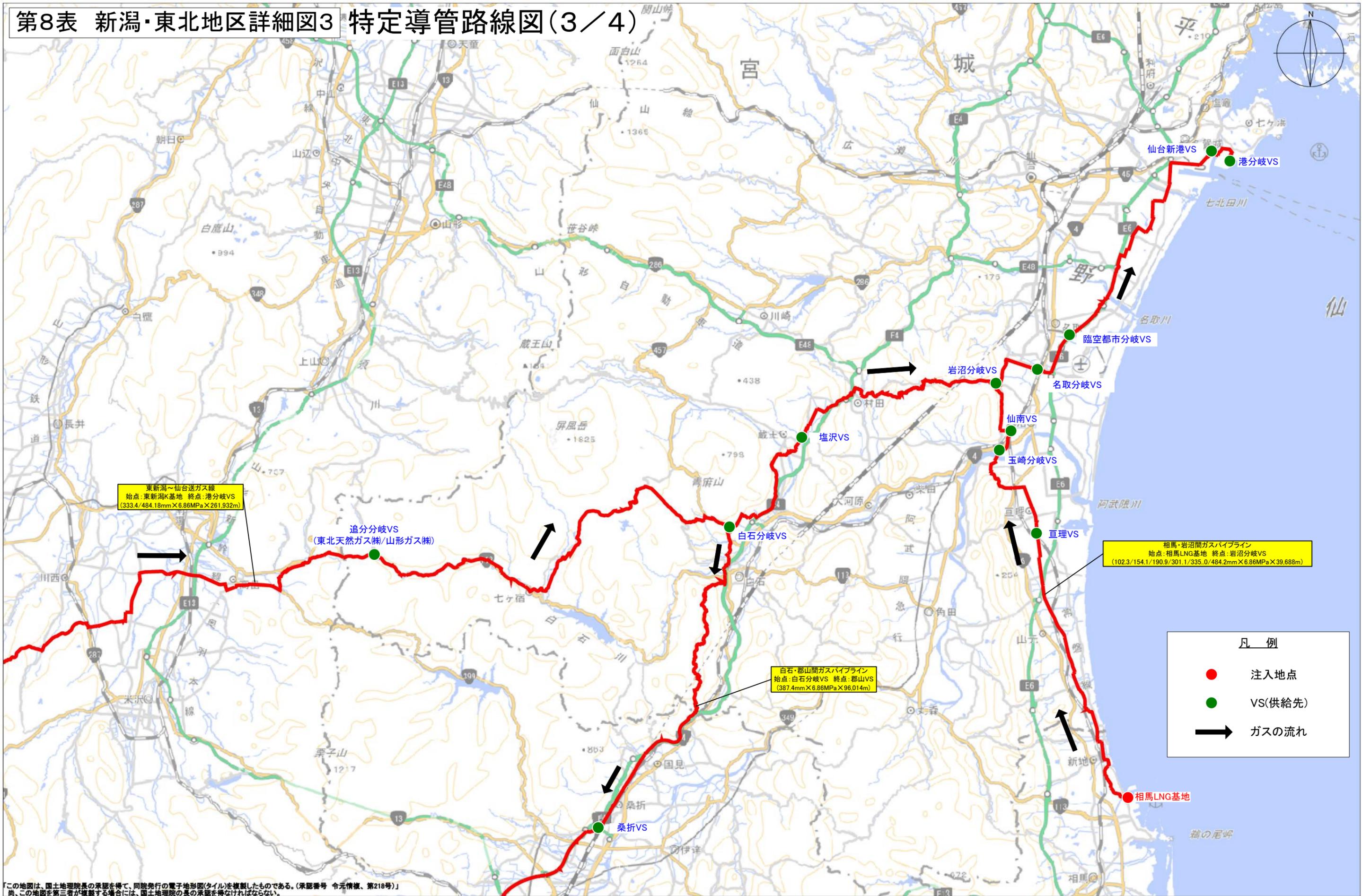
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情標、第218号)」  
尚、この地図を第三者が複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

第8表 新潟・東北地区詳細図2 特定導管路線図(2/4)



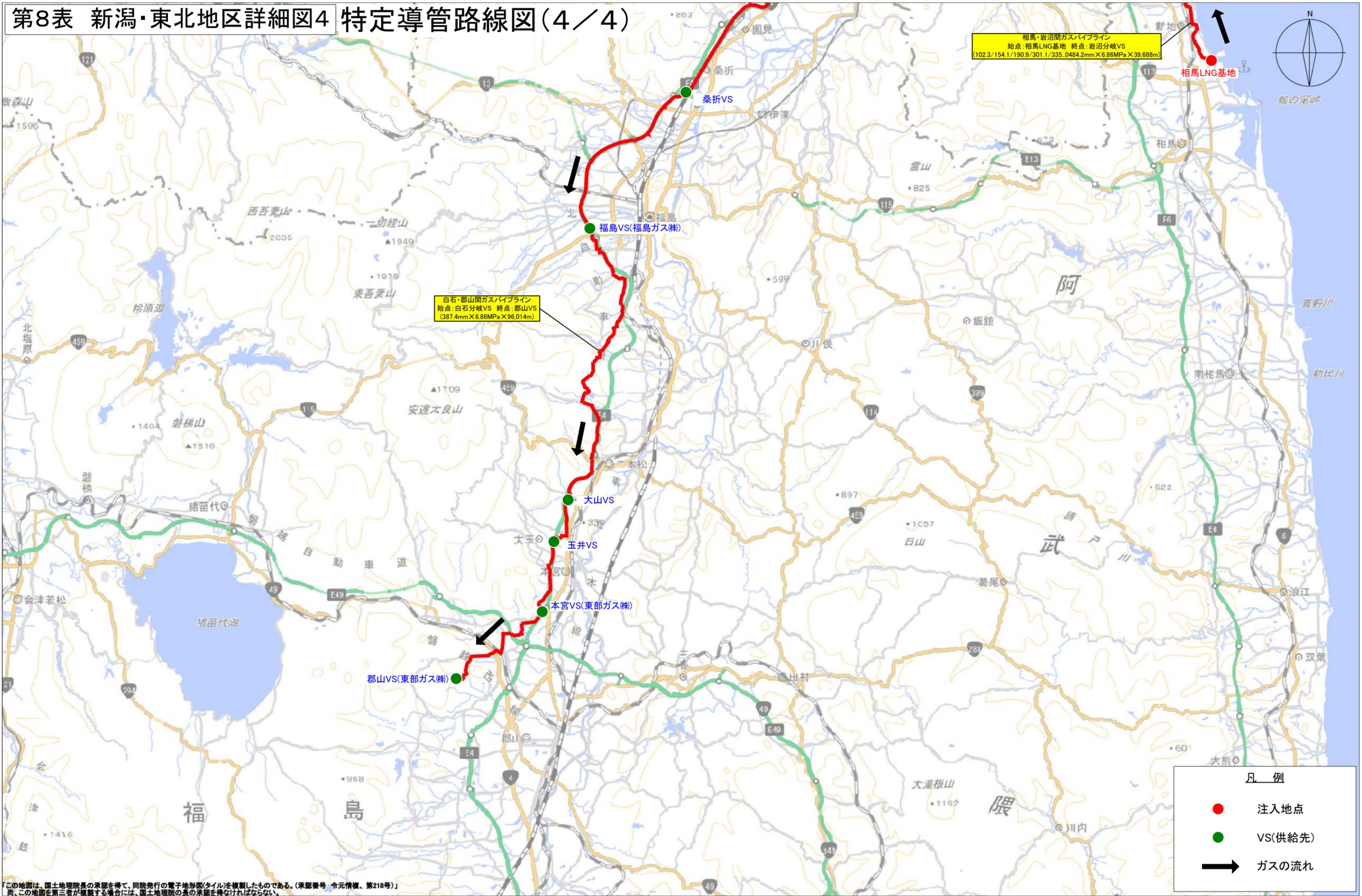
【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情復、第218号) 尚、この地図を第三者が複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。】

第8表 新潟・東北地区詳細図3 特定導管路線図(3/4)



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情復、第218号)」  
 尚、この地図を第三者が複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

第8表 新潟・東北地区詳細図4 特定導管路線図(4/4)



凡例

- 注入地点
- VS(供給先)
- ➡ ガスの流れ

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情復、第218号)」  
尚、この地図を第三者が複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



